

## 日本英文学会九州支部第74回大会 Proceedings

目次：

### 【研究発表】

音節構造と母音持続時間—英語の2音節語の場合-----	石橋 頌仁	1
簡素化左周辺部再考—焦点化、V2現象の観点から-----	大塚 知昇	3
主要部—主要部構造のラベル付けに関して-----	川満 潤	5
ヒーローと悪役の名称比較— <i>Marvel Comics</i> のキャラクター名における音象徴 -----	神谷 祥之介	7
主語 wh 疑問文の派生再考-----	末永 広大	9
概念構造からの anaphor と logophor への統一的アプローチの試み—文と文断片の <i>self</i> 代名詞 -----	永次 健人	11
ラベリング分析における動詞句の派生-----	宮元 創	13
Split Minimal Search-----	森竹 希望	15
An Unsuccessful Power Grab: Inheritance of Feminine Invalidism and Rebellion of “Sick” Women in <i>Wuthering Heights</i> -----	Yin Yimeng	17
<i>Great Expectations</i> におけるピップの語り—隠された暴力性と無意識の自己編纂 -----	横井 翔馬	19

### 【招待発表】

『ヴェニス商人』におけるポーシャの教養-----	高根 広大	21
素性浸透アルゴリズムの意義と展開-----	宗正 佳啓	23

## 【シンポジウム】

### 第1部門 「イギリス文学」

#### 演劇とインターテクスチュアリティ～シェイクスピア・地図・予言・ジェンダー・歴史書～

- シェイクスピアと『ホリンシェッド年代記』のジェームズ朝的インターテクスチュアリティ  
-----大島 久雄 25
- John Speed の大英帝国地図と *Cymbeline*-----勝山 貴之 27
- 予言のテキストとサブテキストー『マクベス』におけるインターテクスチュアリティ  
-----小林 潤司 29
- シェイクスピアとジェンダーバイアス-----國崎 倫 31

### 第2部門 「アメリカ文学」

#### 都市と連帯ー文学的ニューヨークの探求

- 連帯の幻想と孤独の現実ーアンダーソンが予言し、カウリーが検証した 1920 年代のニューヨーク  
-----藤野 功一 33
- 「時間の外にある都市」ー『山にのぼりて告げよ』におけるハーレムと教会-----永尾 悟 35

### 第3部門 「英語学」

#### (非) 名詞句主語へのアプローチ

- 副詞節主語の特性の理論的考察-----廣江 顕 37
- 動名詞句主語と原因という意味役割-----武内 梓朗 39
- ラベル理論から見る主節現象：文主語・場所句と C/T の併合-----谷川 晋一 41
- There 構文の拡がり-----古賀 恵介 43

2022年2月9日 発行  
日本英文学会九州支部